

令和3年度 京丹後市防災会議 会議録

- 開催日時 令和4年3月16日（水）午後2時00分～午後3時00分
- 開催場所 京丹後市役所201～203会議室
- 出席者 中山泰会長、木下功一（高橋亮司委員代理）、水嶋式行（中本晴夫委員代理）、春名靖弘（米田均委員代理）、中川世士（重見博子委員代理）、涌田和也（滝波利博委員代理）、川浪隆将委員、松森伸治（西谷俊博委員代理）、松崎和彦委員、上田義博委員、畑山穰委員、金田琮仁委員、川口勝彦委員、今田幸四郎（山崎喜代枝委員代理）、藤井美枝子委員、山内美幸委員、山添博史（山崎正夫委員代理）、井上敏（森重敬委員代理）、中西和義委員、松本明彦委員、池田弘幸委員
- 欠席者 齊藤治人委員

- 公開又は非公開の別 公開

- 傍聴人 3人

■ 会議概要

1 会長（市長）あいさつ

本日は、本市の防災会議に舞鶴、宮津をはじめ、市内外から大変お忙しいなか、ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

まずは、コロナの関係で京丹後もそうですし、各地において懸命なご尽力、またさまざまな行政からのお願いに対するご負担やご協力を賜りながらコロナ対策を市民、国民あげてしている最中でありまして、日頃のご協力に感謝申し上げたいと思います。なかなか収まりきれてないわけですが、京都の場合は、まん延防止の措置が、21日で解除となる方向で検討がされているわけですが、そうなったとしても、なかなか収まり切れていない状況の中で、引き続き対策の徹底をお願いしないといけないということでございまして、引き続きのご協力をお願いしたいと思っております。

災害ということでいいますと、本市また丹後地域をめぐりましては、この3月7日が北丹後地震から95年が経過したということでございまして、改めて追悼の思いとともに防災への備えをしっかりとしないといけないというような思い、決意を皆様とともに刻まなければならないというふうに思っております。

全国的にはさまざまな災害が大規模に、かつ頻発するような状況であるわけでございまして、これに対してしっかりと備えていくというのが全国各地また当地域においても、大切であるということをございます。その上で、今日はこの災害のさまざまな備え、議事としてお世話になっておりますのは地域防災計画のこの間の各種状況に応じた見直し等について、そういったことも背景にしっかりとした見直しと対応に尽くしていくということでご審議をお願いしたいと思います。最近の状況に応じて、まちの安全安心、防災減災に努めていくということをご協力賜りながら、ご意見ご教授を賜って、実り多い場としていきたいと考えているので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

2 会議録署名委員の指名

藤井美枝子委員

3 議 事

(1) 京丹後市地域防災計画の修正について（事務局から説明）

- ① 一般計画編の修正 <資料3>
- ② 震災対策計画編の修正 <資料4>
- ③ 原子力災害対策編の修正 <資料5>

<質 疑>

委 員：6ページにあります市の取り組みですね、非常に画期的な中身であると思っっています。一点は、名簿等の個別避難計画にいろんな情報を提供する場合に、これまでは本人が了解しないと出せないということだったわけですが、全国的には3割ぐらいしか実は登録できていないといったデータもあるわけでございます。それが神戸方式といいまして、自分の情報を名簿に載せたくないという人は手を挙げてくださいね、それ以外は載せますよということが広がって行って、過半数を超える多くの方の登録ができるようになったということで、それでやっぱり障害のある方が行政の助ける対象になっていくということは非常に大きなことだと思っっています。ぜひ、丁寧に進めていってもらいたいと思っっています。

もう一点は、個別避難計画の中身なんですけども、民生委員さんにごんばって作っただいただいているところですが、やっぱり障害の特性だとか精神障害の方が飲んでいる薬だとか、なかなか専門職でないとわからない情報があったりして、東日本の時も薬が飲めなくて調子を崩したという方が沢山いらっしやったということを知っていますので、それも専門職がしっかり入っていくというところはぜひ進めてほしいなと思っっています。

最後です。8ページにあります社会福祉法人との協定ということが書いてあります。私も東日本で福島の南相馬市に支援に入ったことがあるんですけども、やはり障害のある方々は災害があった時に自分の通っている事業所に来るんですね、そこへ助けを求めてくるんですけども、食糧だとか情報っていうのがわからないというところで、食糧については、最近早く入ってくるんですけども、情報はなかなか入らないということですので、市内の各事業所との情報共有の仕方みたいなところはぜひ詰めてもらいたいと思っております。全体としましては、かなり画期的な中身であると思っておりますので、了解したいと思っております。以上です。

会 長：ありがとうございます。事務局からありますか。

事務局：今ご指摘もいただきました要支援者等の避難支援につきましては、先ほども説明しましたとおり、3月議会におきまして条例の提案もさせていただいております。今後、個別避難計画の策定にあたりまして、ケアマネージャーさん等とも連携しながら見直しを進めていきたいと考えております。

それから、平常時でも要支援者の同意を得ることなく支援者の方に情報が提供できるように、そういった規定も提案させてもらっていただいております。これまで以上に避難訓練を通して避難支援者と要支援者の避難が実効性のあるものとなると思っておりますので、引き続き訓練を通して要支援者の支援に努めてまいりたいと考えております。

会 長：条例の方は、今議会の方で丁寧にご審議くださって情報交換、共有してくださっていると思えますけれども、あくまでも提案中という状況でございますので、その点お含みいただけましたらと思えます。

委 員：市社会福祉協議会としての取り組みなんですけども、災害時についてのボランティア登録者を増やしていくということで、今、女性リーダー研修を行っているところでございます。昨日も女性防災リーダー養成講座をさせていただきました。市社会福祉協議会としては、地域の皆様に女性がそこに関わって行って男性女性のそれぞれが役割をしっかりと地域で果たしていただくように取り組んでいるところでございます。皆様またご協力をよろしくお願いいたします。

会 長：ありがとうございます。心強いお話を賜ったかと思えます。今後もどうぞよろしくお願いいたします。事務局の方から何かありますか。

事務局：今ご紹介いただきました社会福祉協議会さんの方で災害ボランティアセンター等の関係もあります。災害時には災害ボランティアセンターを設置いただいて、運営をしていただくことで協定も結ばせていただく中で、そういった連携も図っております。今年度、コロナの関係で実質の訓練はできませんでしたが、今後連携した訓練等も協働してやっていきたいと思っております。

おりますので、引き続き、ご協力をお願いしたいと思っております。

会 長：他にないようですので、防災計画修正案につきまして、ご承認させていただいてよろしいでしょうか。

（委員「異議なし」）

会 長：異議なしということですので、京丹後市地域防災計画の修正案を承認させていただきます。

(3) その他
な し

4 報 告（事務局から説明）

- (1) 避難所の見直しについて
- (2) 洪水・土砂災害ハザードマップの作成について
- (3) 大宮町指定避難所基本運営マニュアルについて

<質 疑>
な し

5 その他

委 員：京丹後建設業協会から2つばかりお話ししたいことがございまして、まず1つ目は、皆様のお手元に「京都のまちを災害から守る！」と書かれた冊子をお配りしましたが、この冊子は今月完成したばかりで、先週から京都市内で配布をはじめております。地球温暖化の影響で災害が大きくなっていることもあり、防災意識の高揚に役立てていきたい、そして、実際に災害が起こった時には、我々建設業者がそれぞれの地域で迅速に対応していきますよということも伝えたいという思いがあって作成したものです。18ページには、網野の山崎工業さんの活動も取り上げられていますので、お読みいただいてお役に立てていただければと思っております。

2つ目は、先月、弥栄で除雪作業中に大変痛ましい事故が起きてしまいました。除雪を請け負っているものとしたしましては、皆大変重大なものとして受け止めております。この事故の後、協会でも事故について話をしました。雪の降る中、暗い中での作業であります。オペレーターには注意の上に注意を重ねて作業をするようにと指示をいたしました。しかし、我々業者だけの努力ではなかなか事故を防ぎきれないという意見もございます。除雪シーズン、早朝より仕事をされます業者の方々にもご協力をいただいて、作業中、除雪車には近づかない、そして、目立つ服装をして

いただくこと等の注意喚起を、11月の終わりか12月のはじめ、除雪が始まる前にはぜひお願いしたいと思っております。また、市民の皆様には安全に除雪ができるようにご協力をお願いしたい思いです。以上です。

会長：除雪の際の交通事故について、行政として除雪をお願いしている立場でございまして、改めてこういった事故がないように、事業者の皆様と一緒に、再発防止を徹底してまいりたいと考えております。

以上の会議の顛末を記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和4年3月 日

委員